



発行所
別府市環境課
〒874-8511
別府市上野口町1-15
TEL 21-1134
FAX 21-1105
e-mail: env-le@city.beppu.oita.jp

別府市新エネルギー教室〜第2回〜

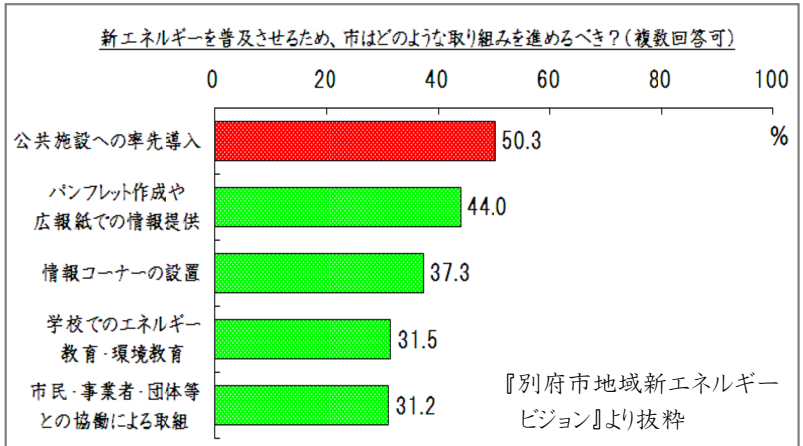
第30号（9月発行）で新エネルギーについて学んだ翔太くん。詳しくなるにつれて、別府のみんながどう思っているのかが気になり始めました。

翔太「新エネルギーは純国産で、二酸化炭素の排出が少ないという特徴があるんだよね。それに、別府では、温泉の熱を発電に使ったり、その熱を冷暖房などに利用して、環境に優しい暮らしができたりすることも分かったよ。」

博士「お！前回のおさらいじゃな。」

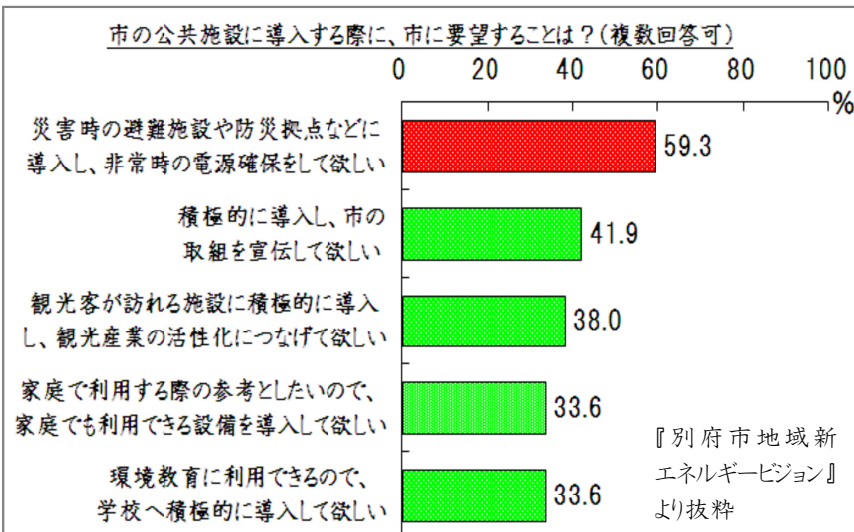
翔太「でも、僕が分からなかったみたいに別府のみんなも新エネルギーって言葉は聞いたことがあっても、詳しく知らないんじゃないかなと…」

博士「その言葉を待ってあったぞ！別府市の環境課が行った市民アンケートの結果が右の図じゃ。『市はどのような取り組みを進めるべきか？』という質問に対し、上位2位から4位は情報提供を求めるものじゃった。」



翔太「やっぱり『新エネルギーってなに？もっと情報が欲しい！』ってことかな？」

博士「そういうことじゃと思うぞ。そんな中、一番多かったのは、公共施設への率先導入じゃ。公共施設とは、身近なところで言うと、学校や公民館、温泉施設などのことじゃ。そういった場所で太陽光や地熱などの新エネルギーを活用してほしいということじゃ。」



翔太「左のもう一つの図は？」

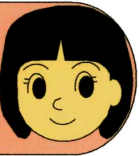
博士「うむ。市の公共施設に新エネルギーを率先導入する際に、市民が要望することの図じゃ。一番求められているのは**災害時の電源確保**のようじゃ。」

翔太「災害時の電源確保？」

博士「例えば、地震や台風によって電力会社からの送電線が切れたら電気が使えなくて困るじゃろ？そんなときに、避難先の施設で発電ができて、それを地域の人が無料で使えたとしたら…？」

翔太「それは助かるね！電気が使えないのは困るし。他には、観光産業への活性化や地域振興、家庭や学校などの身近なところへの設置も期待されているみたいだね。」

博士「多い意見をまとめると、①避難施設・防災拠点に率先導入してほしい。②もっと情報を提供してほしい。…といったところじゃろう。情報提供のためにも、これからもどんどん『エコ湧〜く』で取り上げていくので、ぜひ見ておくれ。よろしく頼むぞ。」



耐久戦 ~ vs 「G」 ~



こたつのススメ



寒い冬を暖かく快適に過ごすために、どんな防寒対策をしていますか？

厚着して暖房器具を使わない事が「究極のエコ」なのは間違いありませんが、ファンヒーターやエアコンなどの暖房器具を使う人が多いのではないのでしょうか？

暖房器具を使う際には、「エコ」や「経済性」も考えたいものです。そこで今回は、昔ながらの「こたつ」にスポットをあてたいと思います！

「こたつ」は掛布団と敷布団に覆われ、熱が逃げにくい構造になっています。そのため、暖まりやすく冷めにくい、効率が良い暖房器具ですが、さらに上手に使う工夫を紹介します。

- ① 敷布団の下に断熱シートを敷く。
※ホームセンターなどで 1,000円程度
- ② 掛布団の外側にカバーをかける。
※洗濯もでき、掛布団の掃除も楽に
- ③ 掛布団の内側に薄手の毛布を追加する。

このような工夫により、さらに熱が逃げにくくなり、温度設定を「弱」にしても十分暖かいまま過ごせるようになります。すると、消費する電力が下がり、ますますエコで経済的に！

上半身を冷やさないように「はんでん」や上着をはおって、エコで快適な冬を過ごしましょう！

こたつを求めて家族が集まり、「心もあったか」になるかも？



野外焼却はやめましょう！



「農作業で直接必要な場合」や「風俗慣習上の行事」などの例外を除き、**野外焼却は禁止されています。**

発生する煙によって、洗濯物に匂いが付いたり、人の健康に悪い影響を与えることもあり、近隣トラブルの原因にもなりかねませんので、庭の草刈りや木のせん定などで出た草や枝などは、たい肥として利用したり、指定ごみ袋に入れて(枝…太さ:直径5cm以内、長さ:50cm以内)、ごみの収集に出すようにお願いします。

※公共の道路や公園などのボランティア清掃で発生したごみは、通常のごみ収集日とは別に、無料で収集していますので、環境課「清掃事務所(電話:66-5353)」までご連絡ください。

